

健康増進の取り組み

Q 健康寿命を延ばすウォーキングの推進

A 運動習慣の定着化にむけた取り組みを支援していく



森野 隆 議員



整備された遊歩道



傷みがひどい遊歩道

問 健康で長生きをしたいというの、誰もが同じ思いである。長寿県になった滋賀県も、更なる県民の健康増進を目指す取り組みをされている。

答 当町としても単なる平均寿命を延ばすのではなく、健康寿命を延ばす取り組みを考えなければならぬ。特別な運動をしなくても、日常生活でのちょっとした工夫で体を動かす機会を増やすことができる。ウォーキングは老若男女を問わずすぐに始められる運動である。ウォーキングロードの整備を今一度行い、健康

問 まちづくりの第一歩として、取り組んではいかがか。

答 (健康推進課長) ご指摘のとおり、健康寿命を延ばすには、個人の努力だけでなく、環境整備、政策的な健康づくりが重要である。健康に関する情報の提供など、健康づくりにむけた個別支援と多くの関係機関とが協議し、地域全体にかかる健康づくり、特に運動習慣の定着化にむけた取り組みの支援を行っている。

なお、ウォーキングロードについては、住民が安全で利用しやすい道路整備として、既存道路を活用しつつ、未歩道の整備、段差の解消や、町

問 11月1日に施行された機構改革について

答 この愛荘町は観光面をとらえてみると重要なところに来ているのではないかと。

湖東三山館あいしゅうや、街道交流館、先の見えない旧郡役所、このような新しい施設の今後を心配し、またお祭

問 観光を振興するためのウォーキングロードの整備等、他の部署と連携しながら、計画的に推進し、多くの方々に参加していただけるようなウォーキング、スポーツ、体操など健康な町づくりに取り組んでいく。

答 (町長) 観光を振興するためのウォーキングロードの整備等、他の部署と連携しながら、計画的に推進し、多くの方々に参加していただけるようなウォーキング、スポーツ、体操など健康な町づくりに取り組んでいく。

教育長の選任について

Q 教育長の不在は何時まで続くのか

A 来年度当初までには選任したい



西澤 柱一 議員

問 教育長は町長により選任されるが、12月を迎えても選任されない。愛荘町の教育に対する影響は大きく、9月議会に引き続き質問した。

答 (町長) 教育長は町長により選任されるが、12月を迎えても選任されない。愛荘町の教育に対する影響は大きく、9月議会に引き続き質問した。

問 このままでは今年度の選任は見込めない。来年度は大丈夫か。

答 (町長) いろいろと努力している。来年度当初までには選任していきたい。

問 この1年「学校給食費の着服」「台風21号による授業再開の遅れ」「中学校のいじめ」などの事件が発生した。

答 (町長) また、学力問題をはじめ山積している課題への対応について、教育長の不在は町の教育に大きなマイナス影響を及ぼした。これについて町長はどのように認識しているか。

問 組織の弱体化を防ぐために、教育長職務代理者がいる。不在の期間がこれだけ長くなると、この職務代理者に教育長と同様の条件を整え、非常勤から常勤体制にして組織の確立を図ってはどうか。

答 (町長) 職務代理者は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により非常勤となる。

問 教育予算の比較

答 (町長) 県下6町や近隣2市に比べて、愛荘町の教育予算(学校建築・備品などは除く)は後順位と聞いている。児童生徒一人当たりの予算額はいくらで順位は何か。

答 (教育主監) 公表されていないために、比較することができない。ハード事業を含む住民一人当たりの28年度決算では、県平均を上回っている。



睡わいを取り戻せ

問 児童生徒を指導する臨時講師や教育支援員の配置は十分か。

答 (教育主監) 30年度は、県下6町及び近隣2市に比べると、児童生徒10人当たり上位4番目である。

問 毎年、新入生に対して通学時の安全確保のために「黄色の帽子」が配付されている。

答 (町長) 今までの交通災害共済からの配当金で対応されていたが、来年度からこの制度が廃止される。町において対応すべきである。

問 町が費用負担する方向で調整している。

答 (教育主監) 町が費用負担する方向で調整している。

問 最初から大規模な整備を目指すのではなく、先ず街道交流館の周辺をどのようにするのか。成功事例をつくることである。事業展開について問う。

答 (産業建設部長) 民間事業者や観光協会、地域団体など一体となって取り組んでいくことで、小さな経済活動を活性化し、地域の活性化と生活の質の向上に資する事業展開をめざす。